

釧路十勝海区漁業調整委員会の委員候補者の推薦・応募の結果について（令和6年8月27日～9月26日）中間・最終

募集人数15名に対して、推薦14名、応募1名 合計15名 うち漁業者等 13名（推薦13名、応募0名）

（推薦）

※（注）経歴は前職まで掲載

受付 番号	氏 名	年齢	性別	職業	経 歴	漁業者 等該当	漁業の状況	推薦をした者[法人又は団体の場合]（※個人の場合）			備考
								団体等の名称 及び代表者氏名 （※氏名、性別）	設立の目的等 （※職業、年齢）	推薦の理由	
01	神山久典	72	男	漁業	H18.7～大樹漁業協同組合 代表理事組合長 H18.8～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	（漁業種類） さけ定置漁業 けがにかご漁業 小型機船底びき網漁業 （使用漁船） ディーゼル船（6.6t） （年間従事日数） 240日	（団体名称） 大樹漁業協同組合 （代表者） 代表理事組合長 神山 久典	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げもって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	昭和45年から54年間、さけ定置網漁業をはじめとする各種漁業に従事しており、漁業の現場に精通している。 平成18年から釧路十勝海区委員会の委員を5期18年に渡り歴任し、調整能力に優れている。 当漁協の監事、理事を歴任後、平成18年7月から代表理事組合長として現在に至るまで漁業運営に尽力しており、指導力も高く、組合からの信頼も厚い。 一方で、漁業以外の活動においても、大樹町名誉町民等審査委員をはじめ、大樹町防災会議の委員等に就任しており、広く地域社会に貢献している。以上のことから、漁業調整員として推薦する。	
02	中村純也	55	男	漁業	H28.9～大津漁業協同組合 代表理事組合長 H28.11～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	（漁業種類） さけ定置漁業 ししゃもこぎ網漁業 けがにかご漁業 つぶかご漁業 （使用漁船） ディーゼル船 （18t、4.9t） （年間従事日数）	（団体名称） 大津漁業協同組合 （代表者） 代表理事組合長 中村 純也	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	昭和63年来より漁業に従事し、平成11年に（有）中村漁業部の取締役役に就任し、秋鮭定置網漁業等、各種漁業経営を行い、漁業の現場に精通している。 この間、大津漁業協同組合代表理事組合長、釧路十勝海区漁業調整委員会委員等の要職に就き、卓越した見識と指導力を以	

							318 日			て漁業者の経営安定に寄与している。 温厚実直な努力家であり、絶えず前向きな姿勢は、多くの地域内漁業者はもとより、十勝管内漁業者からの信頼と人望も厚く模範となっていると共に、豊頃町議会議長を始め、漁業以外の公共の利益に資する活動を広く行っており、地元とのパイプ役となり漁業発展に努力している。以上のことから、漁業調整員として推薦する。
03	西田達雄	75	男	漁業	H16.8～釧路十勝海区漁業調整委員会委員 H22.6～釧路機船漁業協同組合代表理事専務	該当	(漁業種類) 沖合底びき網漁業 (使用漁船) ディーゼル船(160t) (年間従事日数) 90日	(団体名称) 釧路機船漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 金井 関一	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めること	昭和46年に釧路機船漁業協同組合入組後、平成12年惨事、平成18年専務就任以来、長年にわたり沿岸・沖合漁業間の調整問題等の解決や、流通・販売などの水産振興対策、更には組合経営に積極的に取り組んでいる。特に、沿岸・沖合漁業の操業調整には、平成元年から関わりがあり、操業協定の締結や漁具被害の未然防止、トラブル回避など、豊富な漁業知識や優れた調整能力により、様々な課題を解決し、えりも以東海域の操業に欠かせない人物となっている。また、釧路魚市場(株)専務取締役、釧路市水産審議会会長や釧路地方交通審議会委員など漁業以外の分野に係る要職にも就き、公共的な広い視野で客観的に物事を理解し公平な立場から意見を述べている。以上のように西田代表専務理事は、水産に関する経験・見識が非常に豊富で、漁業調整に関する問題を客観的に理解し、公平な立場から解決策を検討できる人物であ

										ることから、漁業調整委員として推薦する。
04	秋森新二	76	男	漁業	H25.6～散布漁業協同組合 代表理事組合長 H28.8～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	(漁業種類) こんぶ漁業 (使用漁船) 船外機船(0.7t) (年間従事日数) 120日	(団体名称) 散布漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 秋森 新二	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	昭和39年に漁業に従事して以来、平成4年に散布漁業協同組合理事、平成25年には豊富な経験と卓越した指導力が認められ、代表理事組合長に就任し地域の太宗漁業である昆布漁業の安定生産、資源増大に努めた。又、つくり育てる漁業として、ウニ養殖漁業の推進、あさり漁場の環境保全に尽力し、漁業現場に精通しており、現職の海区漁業調整委員としても、的確な判断や指導力は、十分であります。 又、平成26年より北海道信漁連監事、平成28年から北海道信漁連代表監事を令和4年まで務め、その経歴から幅広く北海道水産業に精通している者であり、平成27年から地域の総意から浜中町町議会議員に立候補し当選後、3期9年を務めた地域のリーダーでもあります。 以上のことから、海区漁業調整委員として推薦する。
05	山崎貞夫	73	男	漁業	H24.3～浜中漁業協同組合 代表理事組合長 H24.8～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	(漁業種類) こんぶ漁業 うに養殖漁業 (使用漁船) 船外機船(0.7t) (年間従事日数) 300日	(団体名称) 浜中漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 山崎 貞夫	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	漁業については、昭和45年に昆布漁業に従事して以来、これまで50年間携わっており、知識経験については申し分ありません。 漁業士として27年の経験を持ち、浜中漁業協同組合総代、理事、平成24年からは代表理事組合長として浜の指導者として尽力してきております。 又、漁協系統各連の役職も歴任し、現職としては北海道漁業

									<p>協同組合連合会理事も務め、漁業はもとより広く水産業関係全般にも精通しているものであります。</p> <p>更に、地元浜中町においては、諮問機関である港湾審議会の委員を務め、行政への的確な意見を提言するなど、地域における貢献も多大なものであります。よって、平成 24 年から公選により海区漁業調整委員も現職として務めており、職務を的確に遂行出来る人材と認め推薦するものであります。</p>	
06	上野仁	63	男	団体役員	<p>H30.3～浜中漁業協同組合 専務理事</p> <p>R3.4～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員</p>	—	—	<p>(団体名称) 浜中漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 山崎 貞夫</p>	<p>組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること</p>	<p>昭和 56 年に浜中漁業協同組合に就職、現在まで 39 年の業務経験があり、その間、浜中地区の多種にわたる漁業の指導等に尽力しており、漁業に関する知識は十分であります。</p> <p>職員時代にあつては、長きに亘り漁業振興、漁業調整の業務に携わりその知見も広く、また、平成 23 年からは参事職を拝命され、平成 30 年からは専務理事として組合業務に尽力し、判断調整能力にも長けております。</p> <p>なお学識経験については、次のとおりであり、学識者として知識及び実績は申し分無いと考えております。</p> <p>(資源管理)</p> <p>漁協職員として、これまで数々の資源管理の指導をしてきており、中でもほっきがい漁業では、水産指導所が行う資源状況調査の際は、現場調査に自らも参加し、その後の自主的な漁獲量制限及びサイズ制限についても積</p>

									<p>極的に指導を行ってきたことで、現在までのほっきがい資源の持続的・安定的な利用に繋がっております。現在も事務方のトップとして、率先してこれら資源管理の指導普及を行っており、学識者として知識及び実績は申し分無いと考えております。</p> <p>(漁業経営)</p> <p>漁協職員として、これまで多くの漁業者への営漁指導を行った中で、経営の改善を図ってきており、過去にはさけます流し網漁業において漁業収支が年々落ち込んでいた際は、他魚種への転換、効率的な操業の提案や資金融資是非の判断等、様々な角度から経営の維持を図り、現在の地区水産業の安定にも繋がっております。現在も事務方のトップとして、率先してこれら漁業経営の指導等を行っており、学識者として知識及び実績は申し分無い。</p> <p>以上のことから、海区漁業調整委員としての職務を的確に遂行出来る人材と認め推薦するものであります。</p>	
07	山田明	65	男	漁業	<p>H29.2～白糠漁業協同組合 理事</p> <p>R6.3～白糠漁業協同組合 代表理事組合長</p>	該当	<p>(漁業種類)</p> <p>たこ漁業 かにかご漁業 いか釣り漁業 (使用漁船) ディーゼル船(9.7t) (年間従事日数) 200日</p>	<p>(団体名称)</p> <p>白糠漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 山田 明</p>	<p>組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること</p>	<p>43年間、たこから釣り縄漁業、けがに籠漁業、いか釣り漁業に従事しており漁業の現場に精通している。</p> <p>各漁業の部会長を務め、調整能力に優れている。</p> <p>漁協の理事、組合長を務めており指導力に優れている。</p> <p>以上の事から、海区漁業調整委員として推薦する。</p>

08	司口圭哉	43	男	漁業	R5.3～釧路市東部漁業協同組合 代表理事組合長 R6.3～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	(漁業種類) 小型機船底びき網漁業 つぶかご漁業 こんぶ漁業 (使用漁船) ディーゼル船(4.4t) 船外機船(0.8t) (年間従事日数) 200日	(団体名称) 釧路市東部 漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 司口 圭哉	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	平成17年から19年間漁業に従事しており、経験及び信頼もあり、漁業に関する知識や経験は十分。 令和4年から組合理事、令和5年からは代表理事組合長を務めており、漁業調整や指導・判断能力は申し分ない。また、令和6年3月から釧路十勝海区の委員経験者であり、調整能力には優れている。 系統団体の理事も務め、釧路管内はもとより全道の水産業の推進にも貢献しており、漁業はもとより水産業に関しても幅広い知識を持っている。 釧路水産協会の理事として、釧路地域の発展推進にも尽力してきている。 以上のことから、海区漁業調整委員として適任と考え、推薦するものである。
09	近藤龍洋	71	男	漁業	H24.8～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員 H26.3～釧路市漁業協同組合 代表理事組合長	該当	(漁業種類) つぶかご漁業 (使用漁船) ディーゼル船(9.7t) (年間従事日数) 300日	(団体名称) 釧路市漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 近藤 龍洋	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	56年間つぶかご漁業等に従事しており、漁業の現場に精通している。 漁協の代表理事組合長経験者で現役でもあることから、指導力に優れている。 釧路十勝海区の委員経験者であり、調整能力に優れている。 以上のことから、漁業調整委員として推薦する。
10	桂川 実	67	男	漁業	R5.9～厚岸漁業協同組合 副組合長理事 R6.3～釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	(漁業種類) うに潜水器漁業 (使用漁船) ディーゼル船 (3.8、3.65、3.1t) (年間従事日数) 150日	(団体名称) 厚岸漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 藏谷 繁喜	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	平成28年から家業のウニ潜水器漁業に従事しており、沿岸漁業に関する知識は十分である。 令和2年には、地方公共団体職員としての豊富な行政経験や知見を評価され理事に就任

										し、以降、公平な判断力や卓越した指導力を遺憾なく発揮し、漁業調整に積極的に取り組んでいる。 令和5年からは副組合長理事を務め、漁業調整や指導・判断能力は申し分ない。 また、平成31年より厚岸町議員を務めており、漁業はもとより地域の社会的・経済的発展に幅広く貢献している。 以上のほか、令和6年3月から釧路十勝海区漁業調整委員も務めており、海区漁業調整委員として適任であると考え推薦する。
1 1	中川 孝之	83	男	漁業	H15.5～厚岸町議会議員 H17.3～厚岸漁業協同組合理事	該当	(漁業種類) こんぶ漁業 うに潜水器漁業 (使用漁船) 船外機船(1.5t) ディーゼル船 (3.8、3.65、3.1t) (年間従事日数) 200日	(団体名称) 厚岸漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 蔵谷 繁喜	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	昭和39年から家業に従事しており、漁業に関する知識は十分である。 昭和46年より青年部長を務め、漁業生産技術の向上や、地場水産物の消費拡大を積極的に推進し漁業の振興に寄与された。 平成17年からは組合理事を務めており、漁業はもとより地元一次産業の経済発展や、社会的発展に幅広く貢献している。 以上のことから、海区漁業調整いいんとして適任であると考え推薦する。
1 2	蔵谷 繁喜	70	男	漁業	R5.9～厚岸漁業協同組合代表理事組合長 R6.3～釧路十勝海区漁業調整委員会委員	該当	(漁業種類) こんぶ漁業 小型機船底びき網漁業 小型定置漁業 (使用漁船) 船外機船(1.6t) (年間従事日数) 200日	(団体名称) 厚岸漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 蔵谷 繁喜	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	昭和47年から家業(こんぶ、ほっき、小定置)に従事しており、漁業に関する知識や経験は十分である。 昭和54年より青年部長を務め、漁業生産技術の向上や地場水産物の消費拡大を積極的に推進した。

									平成 15 年には地区の実行組合長に就任し、平成 19 年には、実行組合長連絡協議会会長を務めており、豊富な経験を生かしリーダーとして漁業調整に積極定期に取り組んでおり、漁業者からも高い信頼がある。 平成 23 年に組合監事を 3 年間務めた後、平成 26 年い組合理事、令和 5 年 3 月からは副組合長理事、令和 5 年 9 月からは代表理事組合長を務め、漁業調整や指導・判断能力は申し分ない。以上のほか、令和 6 年 3 月から釧路十勝海区漁業調整委員を務めており、海区漁業調整委員として適任であると考え推薦する。	
1 3	亀田 元教	71	男	漁業	H19.3 ～ 広尾漁業協同組合 代表理事組合長 H20.8 ～ 釧路十勝海区漁業調整委員会 委員	該当	(漁業種類) さけ定置漁業 (使用漁船) ディーゼル船 (16t) (年間従事日数) 140 日	(団体名称) 広尾漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 亀田 元教	組合員が協同して経済活動を行い。漁業生産能率を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めることを目的とする。	昭和 51 年より 48 年間に亘り、秋さけ定置網漁業の経営と操業責任者を務め漁業の現場に精通し、他の模範となる見識を有している。 平成 20 年より釧路十勝海区漁業調整委員を 4 期 16 年に亘り歴任し、平成 28 年 12 月からは、豊富な知見と経験並びに優れた調整能力の評価を受け副会長に抜擢され現在に至っております。 広尾漁協での経歴は、監事 3 年・理事 29 年 (内、平成 19 年 3 月より代表理事組合長) と 32 年間に亘り漁協役員として優れた指導力と判断力にて、組織の基盤強化や経営の安定に尽力していることにより、漁業者からの信頼も厚く高い評価を受けている。 また、平成 25 年 6 月より北

									<p>海道さけます増殖事業協会会長として、秋さけの捕獲採卵・ふ化放流事業を通し、北海道の主要魚種である秋さけの健苗化や回帰率の回復に心血を注いでおります。</p> <p>地域活動としては、(公財)とかち財団評議員、フードバレーとかち推進協議会副会長、(一財)十勝エコロジーパーク財団理事、(いずれも帯広市)、広尾地区沿岸防犯協力会会長、広尾町空き家等対策協議会会長、広尾町都市計画審議会会長を歴任し地域社会に貢献しております。</p>	
1 4	佐藤 孝紀	73	男	漁業	<p>H24.3～昆布森漁業協同組合理事</p> <p>R6.3～昆布森漁業協同組合 代表理事組合長</p>	該当	<p>(漁業種類) こんぶ漁業 刺網漁業 (使用漁船) 船外機船(2.7t) (年間従事日数) 300日</p>	<p>(団体名称) 昆布森漁業協同組合 (代表者) 代表理事組合長 佐藤 孝紀</p>	<p>組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めること</p>	<p>昭和42年から56年間、昆布漁業に従事しており、漁業の現場に精通している。</p> <p>平成24年3月から漁協の理事、令和6年3月からは代表理事組合長を務めており、漁業調整能力、指導力に優れている。</p> <p>以上のことから、適任であると考え、海区漁業調整委員として推薦する。</p>

